

令和3年度 事業計画

観光振興事業

1. 自主事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、徳島観光ガイドマップや、観光情報サイト「阿波ナビ」を活用した情報発信をはじめ、鉄道主要駅や空港、道の駅等の交通結節点での観光情報の発信に取り組む。

また、Facebook や Instagram、Twitter などのSNSを活用した情報発信を実施する。

② 「旬の徳島」魅力発信事業

写真家 大杉隼平氏に「旬の徳島」の魅力をテーマに写真撮影を依頼し、観光プロモーションの素材として活用する。

③ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、本県の紹介や宣伝事業を行い、観光客の誘致促進を図る。

④ とくしま観光情報通信員の活用事業

県内各地の旬の観光イベント情報などを提供していただく「とくしま観光情報通信員」制度を活用し、阿波ナビで情報発信を行うとともに、通信員の拡大に努める。

⑤ 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致に繋げるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進する。

⑥ 徳島国際観光サポーター事業

県内在住の外国人を対象に、当協会のインバウンド事業に協力していただける人材を集め、本県の観光情報の発信や通訳等を行い、インバウンド推進の一助とする。

⑦ ポストコロナにおける情報発信強化事業

今後、需要が高まると予測される、近県、個人、密を避けた観光などに対

応するため、関西、中国、四国地域の旅行会社や個人への観光情報発信を強化し誘客促進に努める。

(2) 観光客誘致促進事業

① 着地型旅行商品造成支援事業

市町村やDMO等の観光関連団体と連携し、既存の観光資源に付加価値をつけた商品開発や、新たな観光資源となる素材を発掘し、着地型旅行商品の開発や造成の支援を行うとともに、商品の魅力を国内外に発信し本県への誘客促進に努める。

② 企業・大学等研修向けプログラム造成支援事業

本県の豊かな自然を活かした各種体験等を人材育成向けプログラムとしてブラッシュアップし、研修旅行等の商品に整備し誘客促進を図る。

③ 中小旅行AGTへの観光情報発信事業

中小規模の旅行AGTに徳島の観光情報を提供し、新たな誘客需要の掘り起こしを図るとともに、当協会賛助会員と連携して「冬のお得な徳島観光素材」として発信し、冬の観光客閑散期対策を推進する。

④ 旅行AGT等サポート事業

旅行AGT等に対し継続的な観光情報の提供を行うとともに、国内旅行AGTによる県内視察を促進し旅行商品の造成に繋げる。

⑤ 四国観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国4県の観光協会が協力し、四国内での域内交流を活性化させるため、商業施設でのキャンペーンやJR四国主要駅等に観光パンフレットを設置し情報発信を行う。

また、おもてなし四国を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を表彰する「四国おもてなし感激大賞」事業を実施する。

⑥ 観光商談会等への参加事業

四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する観光商談会、3旅連主催のPRキャラバン等に参加し、本県の観光情報を提供し誘客を図る。

⑦ マスコミ活用宣伝事業

情報発信効果が高いマスコミを活用し、県内の旬な観光情報や魅力あるイベント等の情報発信を行い観光客の誘致に努める。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業

外国人が本県を訪れた際の満足度を高めるため、体験施設や観光ガイドにおける体験手順やガイドポイントの多言語表記などを支援するとともに、S

NSでの発信強化を図り、外国人受入態勢を整備する。

② 観光関連事業団体の連携支援事業

県内の観光ガイド団体や観光ボランティアガイド団体等の連携を図り、ポストコロナにおけるおもてなし徳島の受入体制を支援する。

(4) その他の事業

① 観光表彰事業

観光振興面で功績のあった観光事業功労者や長期勤続の観光施設優良従業員等への表彰を行うとともに、過去の被表彰者の中から（公社）日本観光振興協会四国支部表彰等に該当する適格者を推薦する。

② 賛助会員との連携

賛助会員との連携を深めるため、事業計画の案内や情報共有、記念講演等を行う賛助会員合同会議を開催する。

2. 県からの受託事業

(1) 周遊促進！徳島観光すいすい事業

旅行商品の造成につながる団体旅行者向けのバス助成を実施する。

また、バス1台あたりの最少構成人数は「20人以上」を「15人以上」に引き下げ、助成額を増額するなどバスを利用した団体旅行の誘客に努める。

(2) とくしまロケーション・ブランド発信事業

映画・テレビ・CM等の県内誘致を促進するため、映像制作関係者などへロケ地等の情報提供やロケアテンドなどの支援を行う。

(3) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信や県内で開催されるイベントに対し支援する。

(4) とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、体系的な「学びの場」として、観光関連事業者や高等教育機関等との連携による「とくしま観光アカデミー」を運営する。

(5) 世界最高の情熱！阿波おどり体感事業（冬の阿波おどり）

年間を通じた徳島への観光誘客を図るため、「阿波おどり」をはじめとした「あわ文化」を活用した冬期旅行商品の造成を促進する。

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行う。

(7) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進や受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の適切な維持管理を行う。

(8) 千客万来！「オール徳島」観光誘客プロモーション事業

「オール徳島」で旅行需要を喚起させるため、官民一体となった「観光誘客プロモーション」を実施し、一般消費者や旅行会社向けの誘客営業を展開する。

(9) 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等のサポートツールを作成し、旅行AGTへの売り込みを行うとともに、コンベンションの開催決定後のサポートを行う。

(10) 「もっと！とくしま応援割」実施事業

コロナ禍が長期に及ぶ中、県民限定の助成制度により県内の観光需要を継続的に喚起するとともに、県民に本県の魅力を再発見してもらい、徳島県の観光産業を支援する。

(11) 夢と感動を！徳島ヴォルティスJ1事業

「徳島ヴォルティス」のJ1復帰にあわせ、宿泊促進キャンペーンや観戦ツアーの造成支援等を行うことにより、県外からの観光客・宿泊者数の増加を図る。

(12) 徳島ー福岡線利用による旅行商品造成促進事業

徳島阿波おどり空港における、徳島ー福岡線の更なる利用促進・需要喚起を目的として、徳島ー福岡線を利用し県内での宿泊を含む団体ツアー旅行商品に対し助成を行う。

3. 収益事業

(1) 自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップ、とくしま観光カレンダー、当協会封筒への広告掲載等により収益拡大に努める。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化を図る。

コンベンション振興事業

1. コンベンション振興事業

(1) 誘致対策事業

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 国際MICEエキスポへの参加

国内外の会議主催者やキーパーソンに対して、施設・ホテル情報や各種支援案内・提案等を行ない、本県へのコンベンション誘致に努める。

イ. 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区のコンベンション推進団体と協力し、懇談会を開催し、コンベンション主催団体に向けたPRと誘致に努める。

ウ. 大阪MICEデスティネーションショーケースへの参加

大阪で開催される商談会に参加し、国内外のMICE主催団体に対して「関西プラス徳島」のルートを提案し誘客に努める。

② 企画提案・視察支援事業

主催者に対して、コンベンション開催支援制度やコンベンション施設の紹介、各種企画提案による誘致活動を行うとともに、コロナ禍での開催について各種提案や支援を行う。

また、コンベンション開催予定の主催者が視察する際の各種支援を行う。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会を運営し、県内各種関係団体と連携した誘致活動を推進する。

④ コンベンションセミナーの開催

県内の主催者を対象に、各種支援プログラムや助成金等を紹介するセミナーを開催し、誘致促進に努める。

⑤ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会や、その他地域のコンベンション団体と連携し効果的な誘致促進に努める。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

主催者に対し、開催経費の一部、郷土芸能等アトラクション、アフターツアーバス借上げ、県立施設使用料、展示会開催について対象要件に依りて助成する。また、宿泊助成は「延べ100泊以上」を「延べ50泊以上」に、

シャトルバス運行経費は「延べ300泊～」を「延べ50泊～」に引き下げ、「徳島県おもてなしタクシー」利用客にも用件に応じて助成を行う。

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

コンベンション参加者に、県内観光施設や飲食店等の紹介、優待割引券を付加した資料を提供し、県内滞在時間拡大や広域周遊を働きかける。

③ M I C E おもてなし事業

全国大会・学会開催時には歓迎看板を設置、大規模コンベンション開催時には宿泊、観光施設等で歓迎ポスターを掲示し、また、会場での観光PRブースや徳島ならではの土産品等の販売による販わいの創出について企画提案し関係団体と調整する。

④ M I C E ワンストップ事業

大規模学会等の開催時に、飲食店や観光地等のオリジナル配布物を作成する場合、ワンストップで各種調整業務を行う。

また、主催者に対し徳島をイメージしたコングレスバックを販売する。

⑤ 関係団体との連携

J N T O（日本政府観光局）、J C C B（日本コンベンション・ツーリズム・ユビキター）、県市町村、大学等と連携し、コンベンション開催情報を収集し、当協会の賛助会員、とくしまコンベンション誘致推進協議会の会員等と情報共有することにより、コンベンション受入の気運醸成を図る。

(3) 海外からのM I C E 誘致等促進事業

① 「アドベンチャーツーリズム徳島」発信事業

世界のツーリズム市場を牽引する分野として期待されている「アドベンチャーツーリズム」は、ポストコロナに需要が増加すると考えられ、「商品造成」、「受入体制」、「情報発信」の強化拡充に着手し、2025年の大阪・関西万博に照準を合わせた4カ年計画で国内外に発信し誘客に努める。

② ワールドマスタースゲームズ2021関西 ゴルフ競技誘客促進事業

2022年5月に開催される、ワールドマスタースゲームズ2021関西に備え、徳島県において開催予定の各種競技種目のうち、ゴルフ競技について関係団体と連携し、各種展示会への出展やファミツアーを実施し、選手や応援団体の誘致に努める。

③ 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPANトラベル&MICEマート」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図る。

④ 中国・香港からの誘致

中国・香港の旅行AGTに対して教育旅行、M I C E、各種体験旅行等

の誘致を図る。

⑤ 台湾からの誘致

JNTOや日本観光振興協会四国支部等と連携し、台湾からの観光客や教育旅行の誘致を図る。

⑥ 韓国からの誘致

香川県観光協会、高松観光コンベンションビューロー等と連携し、高松空港等を利用して本県を訪れる観光客や教育旅行の受入支援に努める。

⑦ その他の国からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、タイ・マレーシアといった東南アジアを主軸として、教育旅行やインセンティブ旅行の誘致を図る。

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった第4期の初年度であり、利便性・利用者サービスの更なる向上に向け、これまで培ったノウハウ等を活かし、ニューノーマルへの対応を図りながら「安全・安心・快適」を基本方針として、常に来館者の声を聞きながら、「人・物・情報」の交流拠点としての機能を十分に発揮することを目指し、取り組むとともに、更なる業務の効率化等を推進する。

(2) 感染症対策

今回のコロナ禍を踏まえ、感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入、来館者へのマスク着用、3密回避等の注意喚起などを行っているところであり、引き続き安全・安心な環境づくりを推進するとともに、オンライン配信環境の改善など、ハイブリッド型イベント開催等における利便性・快適性の向上を目指す。

(3) 館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努める。
また、設備の維持・修繕については、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施する。

(4) 利用促進事業

① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション部門と連携し、「国際MICEエキスポ」等に参加し、大会や会議・学会など様々な催しの誘致に努める。

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

県内企業の商談会や商品説明会、学校関係の会合、芸術・文化イベントの開催等、施設の利用促進を図るため積極的な営業活動を行う。

③ アスティおどりひろば（県指定事業）

8月12日から15日まで、阿波おどり期間中の昼間対策として、県内有名連による阿波おどりの上演やレッスンをを行い、観光客の誘致を図る。

④ 秋の阿波おどり

秋の集客イベントとして「秋の阿波おどり」を開催する。

本県の郷土芸能や工芸体験に加え、特産品販売ブース、飲食グルメブース等の内容を充実し、交流人口の拡大と地域の活性化に繋げる。

また、令和元年度に開催した「世界阿波おどりサミット」の成果を踏まえ、県外や海外で活躍する連の参加も求め、阿波おどりの裾野の拡大を目指す。

⑤ ドローンプログラミング教室

令和2年度から小学校でもプログラミング教育が必修化された中、アスティとくしまの会場を活用したドローンプログラミング教室やゲームなどの「ドローンイベント」を開催し、徳島の将来を担う子ども達の創造力の育成と地域のにぎわいの創出を図る。

⑥ 明日亭徳島落語会

新春の落語会に、その他の伝統芸能等も取り入れながら「第19回明日亭徳島新春寄席」を開催し、にぎわいの創出や伝統文化の振興を図る。

⑦ アスティ阿波演舞祭

県内4大学の阿波おどりをメインとした学生サークルに出演を依頼し、活動発表の場、学生の同士の交流の場を提供することにより、豊かな情操と健全な心身育成の一助とするとともに、地域におけるにぎわい創出を図る。

⑧ アスティ杯eスポーツフェスタ

年齢、性別、ハンディキャップの有無にかかわらず多くの人を楽しめるeスポーツの普及、発展を図るため、「アスティ杯eスポーツフェスタ」を開催し、地域の活性化、新たなコミュニティの構築、次世代の人材育成等に繋げる。

⑨ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

阿波おどりの練習場所として、多目的ホールの空き日を有名連に提供する

とともに、練習風景の観覧情報を市内宿泊施設等に発信し、観光振興とにぎわいの創出に努める。

⑩ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

県や市町村等と連携し、ふれあい広場を各地域のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として活用し、県内各地の情報発信に貢献する。

(5) 自主事業

① SDGs 推進施策

構内の緑化対策に取り組むとともに、LED照明など環境負荷が少ない機器等の導入を推進する。

また、CS及びESがともに向上するようジェンダーフリーで働きやすい職場づくりに取り組む。

② その他

更なる利用者サービスの向上を図るため、アスティとくしまホームページ等を適宜、情報更新・改善することで、より利便性の高い施設づくりに努める。

また、当施設が徳島市の津波避難ビル・緊急避難場所に指定されていることも踏まえ、避難対応訓練、非常時備蓄品の確保などに努める。

2. 徳島県立男女共同参画総合支援センター（ときわプラザ）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

当協会が継続してときわプラザの指定管理を担うこととなった第4期の初年度であり、ときわプラザが本年度から交流センターから就労相談なども行う総合支援センターに機能強化されたことも踏まえ、利便性・利用者サービスの向上について、ときわプラザにおいてもニューノーマルへの対応を図りながら「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを基本方針とし、これまで培ったノウハウ等を活かし、男女共同参画社会づくりの拠点となるよう取り組む。

また、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや会議室等の利用率向上に努める。

(2) 感染症対策

今回のコロナ禍を踏まえ、感染症予防対策として、手指消毒液スタンドの設置、サーマルカメラ・非接触型体温計の整備、紫外線空気清浄機の導入、利用者へのマスク着用、3密回避等の注意喚起などを行っているところであり、引き続き安全・安心な環境づくりを推進するとともに、オンライン配信環境の改善など、ハイブリッド型イベント開催等における快適性の向上を目指す。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

渦の道と大鳴門橋架橋記念館の管理運営業務を、(株)ネオビエントと共同で行っており、新型コロナウイルス感染予防対策による安全・安心な環境作りに取り組みながら、更なる顧客満足度の向上に努める。

また、ワールドマスタースゲームズ2021関西や2025年開催の大阪・関西万博を見据えて、県や市町村、観光関係団体等と協力し旅行会社、教育機関等に誘致活動を行うとともに、SNS等を活用し国内外へ情報発信を行う。